



## 楽しくチャリティー演芸会

12月1日、第6回普代村歳末たすけあいチャリティー演芸会は、岩手県共同募金会普代村分会（深渡宏村長）と村社会福祉協議会（佐藤勲会長）の共催で、村社会体育館を会場に約500人が参加して行なわれました。

チャリティー演芸会では、可愛い小学生の踊り＝写真＝やふだい荒磯太鼓の太鼓演奏、鳥茂青年音楽隊による楽器演奏、歌などが披露され、集まった観客たちは拍手喝さいで舞台と一体になり楽しんでいました。

十二月三十一日、村国民宿舎くろさき荘（野場義時支配人）では、宿泊客に村の無形文化財・鶴鳥神楽の鑑賞や村の特産品が当たる抽選会など年越しイベントを企画、宿泊客の約半数の五十人余りが、大広間に詰め掛けました。

この後、抽選会が行なわれ、村の特産品の新巻さげケ、イクラ、天然ワカメ、すぎ昆布がプレゼントされました。希望者には年越しそばや甘酒が振舞われ、宿泊客らはこの一年を振り返り新年に思いをはせていました。



## 年越しイベントは大盛況

ち上ってくる「初日の出」に歓声を上げ、「素晴らしい一年に」と宿泊客らは手を合わせ祈願していました。

## ソフトチャンバラに挑戦 打ち込みはすばやく

十二月二十五日、普代中学校（寺林拓也校長、生徒百二十人）では、一年生（四十二人）の体育の授業でソフト警棒を使って戦うチャンバラに取り組みました。

ソフトチャンバラは警察の逮捕術の一つで、棒の長さは約50センチ、先端がスポンジでできてい



男女別に行われたソフトチャンバラ。すばやい動きを見せる女子生徒組も楽しそうに競技

まず、棒で頭や急所以外の体の部分を狙って打ち込む簡単なルールに、生徒たちは笑顔で楽しそうに競技していました。ソフトチャンバラを指導してくださったのは、久慈署普代駐在所長の萱場久司警部補（四三）と同署久慈駅前交番の多田浩司巡查（二一三）のお二人です。このほか、三年生（三十八人）も体育の授業で取り組み、同久慈署のお二人に指導いただいています。